

新入生保護者説明会&交流会！



1月22日(金)、午後、本校入学予定の保護者説明会を実施。同時に、現5年生と新入学児童(現年長児)の交流会を実施しました。

交流会のねらいは、4月から最上級生となる5年生と様々な面(登校班や給食、掃除など)でお世話になる新入児童が、心通わせる時間を設け、学校への入学を楽しみにしてもらうというもの。交流会では、CORONA 感染リスクを考え、最大限の工夫を凝らし、体育館での宝探しなどで交流。



4月の入学式後、「あっ、あの時遊んだお兄さんだ、お姉さんだ…」と言う具合に、弾む声が、校舎内のあちらこちらから聞こえてくるのを、職員一同楽しみにしておきたいと思います。

佐賀県学力調査

昨年12月、4年生以上の児童を対象とした本調査が実施されました。休校等の影響が出ていないのか？保護者の方もご心配されていたと思いますが、結果は、学年の差こそあれ、どの学年も大健闘していることが分かりました。特に6年生の健闘ぶりが光り、6年間の集大成を体現してくれました。「本校は、上学年になればなるほど伸びていく！」これは私の持論。いや、そう信じていますというのが正直なところですが…。ではなぜ、このような好結果が得られたのか。導き出した答えは次の3点。

【学校の担うべき役割】

- 安心して学び合える学級集団づくり
- 好奇心を喚ぶ楽しい授業、分かる授業づくり
- やればできる！ やってやろう！ という、自主・自発のムードの醸成

○やらざるを得ない状況を創り出す工夫を凝らす

【家庭の協力という観点から】

- 低学年からの宿題(自学も含む)の定着が、好結果を産む

今、正に受験シーズン。目標を定める力や諦めず粘り強く学ぶ力を育てる！道を切り拓いていくのは自分自身。最後はここに帰着するのかな。

今年の感謝集会は…！

日頃お世話になっている地域の方々に感謝の気持ちを持ち、お礼の気持ちを伝える。この活動を通して、地域に支えられている学校に気づかせることを目的として毎年この会を実施してきました。しかし、今年は例年通りには…。

ただ、このような状況でも何とかして気持ちを伝えたい。子供達は、12月の代表委員会で、どうしたら感謝の気持ちを伝えられるのか。その気持ちを共有し、手作りプレゼントを届けるための活動を、年明けに本格化しました。その様子、ほんの一端ではありますが、お伝えしましょう。



1年生…しおり

2年生…しかけカード



3年生…メダル

4年生…カレンダー



5年生…ティッシュケース 6年生…花のブローチ

そう言えば、昔、こんなコマーシャルがありました。「家の仏さんは、ちっさいけど心が籠もってはる。ホンマやったら、国宝なんやけどなあ…(和尚さんの吹き)」って。子供達の作った一つ一つのプレゼント、それこそ一個一個が国宝級。西部校区の至る所で、笑顔の花が咲きますように(*^o^*)

